

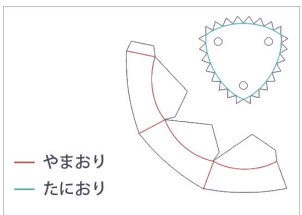
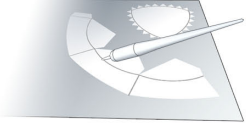


北半球展開図 南半球展開図 飾り台展開図

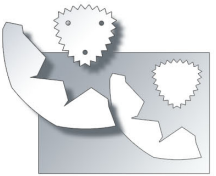
用意するもの：カッター、のり（または両面テープ）、鉄筆など先端の尖ったもの
 ※カッターを使う時はけがをしないよう十分気をつけてください。

作り方（飾り台）

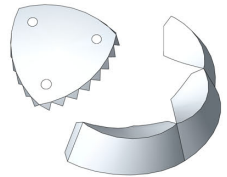
①やまおり線、たにおり線を鉄筆でなぞる



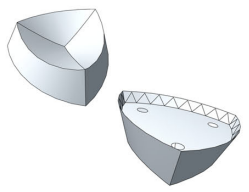
②線に沿って切り取る



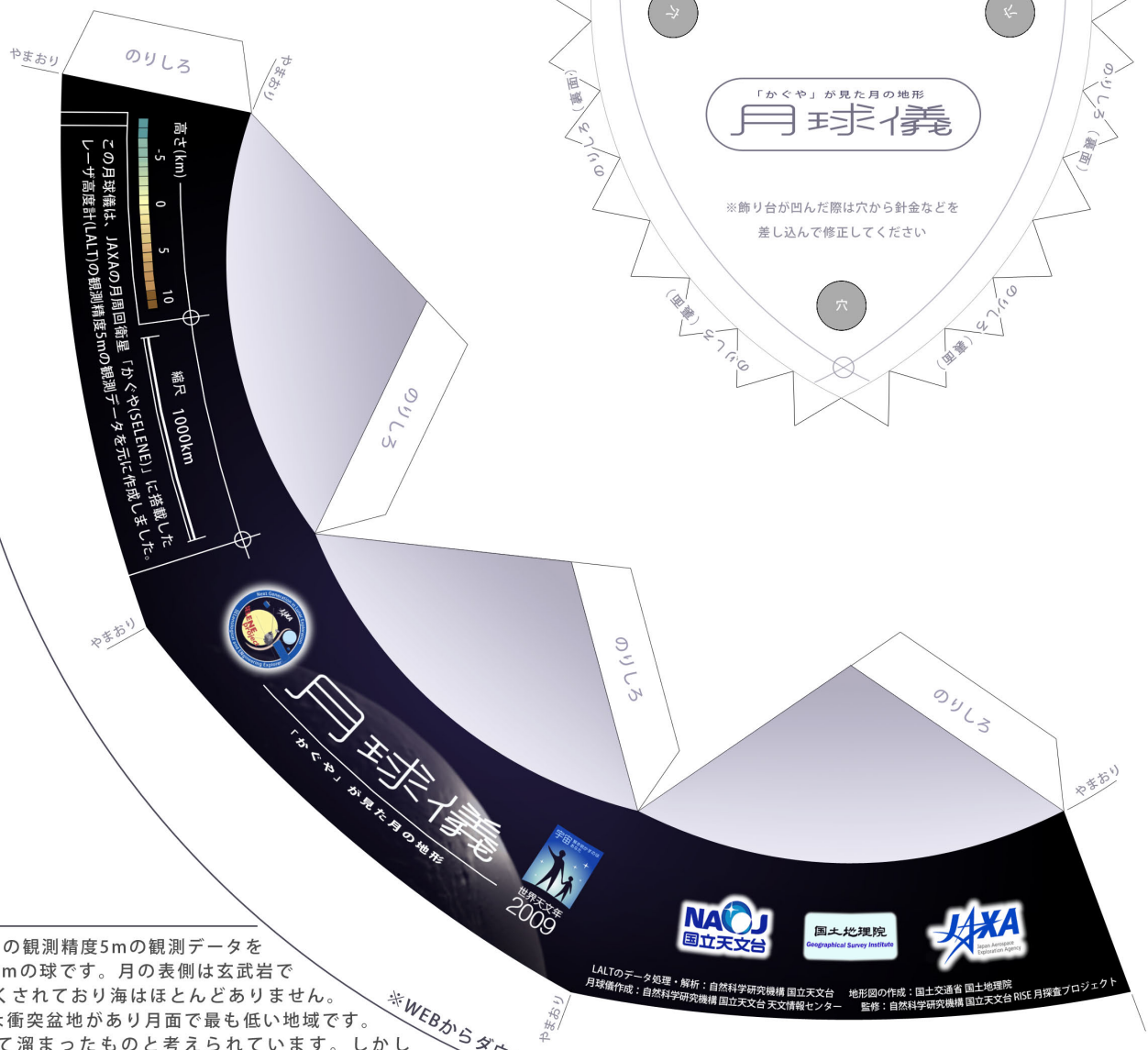
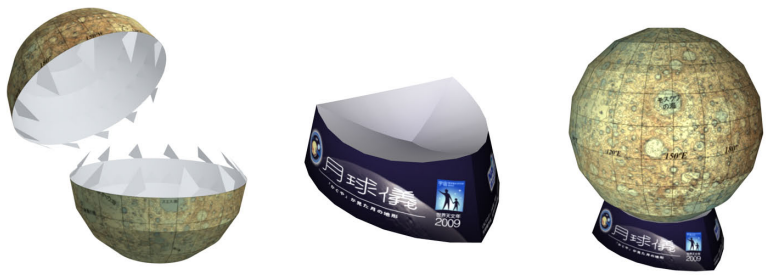
③やまおり線、たにおり線に沿って折目をつける



④のりしろを貼りつけて完成



【完成図】組み立て所要時間：トータル約2時間



「かくや」が見た月の地形
月球儀
 ※飾り台が凹んだ際は穴から針金などを差し込んで修正してください

この月球儀は、JAXAの月周回衛星「かくや(SELENE)」に搭載したレーザ高度計(LALT)の観測精度5mの観測データを元に作成しました。等高線間隔は1km、高さの基準は重心を中心とする半径1,737.4kmの球です。月の表側は玄武岩で覆われた平坦で薄暗い海が比較的多いに対し、裏側は大小様々なクレータで覆い尽くされており海はほとんどありません。また裏側の南半球には、南極-エイトケン盆地と呼ばれる直径約2,500kmもある巨大な衝突盆地があり月面で最も低い地域です。海は円形もしくは楕円形をしているものが多く、衝突盆地の窪みに溶岩が噴出して溜まったものと考えられています。しかし南極-エイトケン盆地は海にはなっていません。これは地殻の厚さや岩石の組成が表側と違うためではないかと考えられています。

LALTのデータ処理・解析：自然科学研究機構 国立天文台 / 地形図の作成：国土交通省 国土地理院
 月球儀作成：自然科学研究機構 国立天文台 天文情報センター 科学文化形成ユニット 中山弘敬
 監修：自然科学研究機構 国立天文台 RISE 月探査プロジェクト



※WEBからダウンロードしていただくことも可能です <http://www.nao.ac.jp/download/>

LALTのデータ処理・解析：自然科学研究機構 国立天文台 地形図の作成：国土交通省 国土地理院
 月球儀作成：自然科学研究機構 国立天文台 天文情報センター 監修：自然科学研究機構 国立天文台 RISE 月探査プロジェクト